

安全データシート(SDS)

Data No : 0001
作成日2018年 1月22日
改訂日2022年 7月 4日

1. 化学物質及び会社情報

製品名(化学名、商品名等) : Lymphoprep
製造元 : STEMCELL Technologies
製造元製品コード : 07801、07811、07851、07861
商品コード : ST-07801、ST-07811、ST-07851、ST-07861

安全データシート対象物質 : ジアトリゾ酸二水和物 9.1%
労働安全衛生法 : 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
政令第18条の2別表第9の606

会社名 : 株式会社 ベリタス
住所 : 東京都港区浜松町1丁目18-16 住友浜松町ビル6階
電話番号 : 03-5776-0078
緊急時の電話番号 : 03-5776-0078
FAX番号 : 03-5776-0076
メールアドレス : veritas@veritastk.co.jp
推奨用途及び使用上の制限 : 比重液

【注意】

本試薬は混合物です。混合物としての性状は各々単品とは異なりますが、便宜的に個別の安全データシート対象物質の情報を記します。
本データシートはすべての情報を網羅しているわけではありません。従って、記載されている情報は化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。また、記載内容は情報提供を目的としており、当該化学物質の取り扱い上のいかなる保証をなすものではありません。

ジアトリゾ酸二水和物

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

火薬類	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
可燃性・引火性エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	区分に該当しない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	区分に該当しない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	区分に該当しない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性物質	区分に該当しない
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:ガス)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	区分に該当しない(粉じん)
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	分類できない(ミスト)
皮膚腐食性・刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分に該当しない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	分類できない
	分類できない
	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	区分に該当しない
環境に対する有害性	
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない

ラベル要素

絵表示又はシンボル:

注意喚起語:

危険有害性情報:

◆GHS 分類に該当しない

注意書き:

【保管】

容器を密閉して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国/地域情報:

3. 組成、成分情報

物質

化学名又は一般名:

ジアトリゾ酸二水和物

別名:

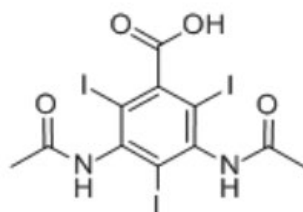
3,5-diacetamido-2,4,6-triiodobenzoic acid

化学式:

C11H9I3N2O4

化学特性

(化学式又は構造式):



CAS番号: 117-96-4
 官報公示整理番号 化審法: 3-4004
 (化審法・安衛法): 安衛法: 4-(4)-665
 分類に寄与する不純物及び安定 情報なし
 化添加物:
 濃度又は濃度範囲:

4. 応急措置

吸入した場合: 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 医師の手当、診断を受けること。

皮膚に付着した場合: 皮膚を水と石鹼で洗浄すること。皮膚に関する症状が現れたら
 医師の手当、診断を受けること。

目に入った場合: 水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと、無理に吐かせないこと。気分が悪いときは医師の手当、診断を受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状: 咳、頭痛、めまい、息切れ、嘔吐、下痢、腹痛、意識喪失。
 症状は遅れて発現することがあり、医学的な経過観察が必要である。

最も重要な兆候及び症状:
応急措置をする者の保護: 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤: 小火災: 二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤
 大火災: 散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤

使ってはならない消火剤: データなし

特有の危険有害性: データなし

特有の消火方法: 関係者以外は安全な場所に避難させる

消火を行う者の保護: 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
 関係者以外の立入りを禁止する。
 風上に留まる。

環境に対する注意事項: 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
 環境中に放出してはならない。

回収、中和: 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。
 少量の場合、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。
 大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
 大量の場合、散水は、蒸気濃度を低下させる。しかし、密閉された場所では燃焼を抑えることが出来ないおそれがある。

封じ込め及び浄化の方法・機材: 危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策: すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。

安全取扱い注意事項: すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

接触回避: 「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管

技術的対策:

保管条件:	容器を密閉して換気の良い場所で保管すること 容器は直射日光や火気を避けること。
混触危険物質:	「10. 安定性及び反応性」を参照。
容器包装材料:	消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度:	データなし
許容濃度(ばく露限界値、生物学的)	データなし
ばく露指標:	
日本産業衛生学会(2005年版)	データなし
ACGIH(2005年版)	データなし

設備対策:

保護具

呼吸器の保護具:	必要に応じて適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具:	必要に応じて適切な保護手袋を着用すること。
目の保護具:	必要に応じて適切な眼の保護具を着用すること。 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具:	必要に応じて適切な顔面用の保護具を着用すること。
衛生対策:	取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など:	固体
臭い:	データなし
pH:	データなし
融点・凝固点:	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲:	データなし ¹⁴⁾
引火点:	データなし ¹⁴⁾
爆発範囲:	データなし ¹⁴⁾
蒸気圧:	データなし ¹⁴⁾
蒸気密度(空気 = 1):	データなし ¹⁴⁾
比重(密度):	データなし ¹⁴⁾
溶解度:	データなし ¹⁴⁾
オクタノール/水分配係数:	データなし ¹⁴⁾
自然発火温度:	データなし ¹⁴⁾
分解温度:	データなし
臭いのしきい(閾)値	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル = 1):	データなし
燃焼性(固体、ガス):	該当しない
粘度:	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性:	通常の条件においては、安定である。
危険有害反応可能性:	データなし
避けるべき条件:	高温と直射日光。
混触危険物質:	強酸化剤
危険有害な分解生成物:	データなし

11. 有害性情報

急性毒性:	データなし
皮膚腐食性・刺激性:	データなし
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	データなし
生殖細胞変異原性:	データなし
発がん性:	データなし
生殖毒性:	データなし
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露):	データなし
特定標的臓器・全身毒性	データなし

(反復ばく露):
 誤えん有害性: データなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性): データなし
 水生環境有害性 長期(慢性): データなし

13. 廃棄上の注意:

残余廃棄物: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報

UN No.:
 Proper Shipping Name:
 Class:
 Sub Risk:

Packing Group:
 Marine Pollutant:

航空規制情報

UN No.:
 Proper Shipping Name:
 Class:
 Packing Group:

国内規制

陸上規制情報

海上規制情報

国連番号:
 品名:
 クラス:
 福次危険:
 容器等級:
 海洋汚染物質:
 航空規制情報
 国連番号:
 品名:
 クラス:
 等級:

特別の安全対策

輸送前に容器の破損、腐しよく、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。直射日光を避ける。
 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法: 名称等を通知すべき危険物及び有害物(1%以上)
 (法第57条、政令第17条別表第3第1号並びに政令第18条及び第18条の2別表第9)
 平成29年3月1日施行
 沃素化合物(沃化物)

労働基準法:
 毒劇物取締法:
 消防法:
 船舶安全法:
 航空法:

16. その他の情報

[参考文献](#)

- 1) ICSC (J) (2000)
- 2) Merck (Access on Jan 2006)
- 3) SRC (Access on Jan 2006)
- 4) SITTING (4th, 2002)
- 5) HSDB (Access on Jan 2006)
- 6) Verschueren (4th, 2001)
- 7) Amoore, J.E. and Haulata, E. Journal of Applied Toxicology, 3(6) 272 (1983)
- 8) Ullmanns (E) (5th, 1995)
- 9) RTECS (2006)
- 10) IARC (Suppl.7, 1987)
- 11) 産衛学会勧告 (2005)
- 12) IARC 8 (1975)
- 13) 既存化学物質安全性点検データ
- 14) 化学物質の危険・有害性便覧 中央災害防止協会 1992
- 15) GHS 分類結果(住化・NITE)